

令和6年度 学校経営にあたっての誓い

諫早市立本野小学校 永井 洋

1 令和6年度のゴール

このゴールの姿を目指し全教育活動を進めます。

子どもたち**全員**に、「**心に残る財産**」をもたせて次の学年、中学校へ送り出すこと

「心に残る財産」とは？

- 自立
 - ・自分で考える習慣、自分のことは自分でする習慣
 - ・どんな集団にあっても、自分の思いを自分の言葉で表現できる力
- 共生
 - ・仲間、友を気遣う優しさ（痛みや喜びも）
 - ・仲間や友と協働して目の前の目標、夢、志などを達成しようとする力
- 貢献
 - ・進んでみんなのために汗を流す意欲
 - ・社会や人のために役立つ人間になろうという夢と目標

自分の物語（人生）を自分の力で紡いでいくことができる力の基礎を育てたいのです

2 そのために教師が心掛けたいこと

- ①心の身体の健康。働き方、働きがいをもう一度考えてみる。
- ②とことん、子どもと向き合う。心とまなざしでつながる。
- ③とことん議論する。議論の中から仕事をつくっていく。
- ④判断基準は、子どもの今と未来にプラスになるかどうか。（子どものためになっているか）
- ⑤子ども、同僚を敬う。言葉遣い、仕草。互いに気持ちの良い仕事を。
- ⑥優先順位をつけて、すべきことはする。一方で、弱音、悩みを言える職員室にする。

「大人（先生）っていいな」と思ってほしいのです。

3 常に危機意識をもつこと

- ①教育活動は「安全第一」「命第一」「子ども第一」の計画で実施する。
- ②よくない情報ほど早く伝える。「おやっ」と感じたら声に出す。
- ③飲酒運転は絶対にしないし、絶対にさせない。
- ④体罰、暴言は絶対に許さない。見て見ぬふりもしない。
- ⑤個人情報等はルール通りに適切に管理する。

信頼は小さなことの積み重ねから生まれると思うのです。

学校を離れるときに「本野小学校に勤務できてよかった」と心から思えるように励みたい

